

J A はだの

発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 (株)JA情報サービス



今の特集 4~5面

若手の力で農業盛り上げ
市内の若手農家で構成する青年部は、さまざまなイベントを通して、部の活動や地域の農業をPRしている。若手が力を合わせて市内の農業を盛り上げる。

じばさんず年末市で正月準備
新鮮な秦野産豊富に
じばさんずは28日(木)前9時から午後3時まで30日(土)の3日間、午「年末市」を開催します。

年越しそばやだるま、お飾り、農家の手作りおせちなど、年末年始にぴったりの品を豊富に取りそろえます。ぜひご来店ください。



「衣裕」のメンバーが手がけた辰モチーフの作品

えと飾りで辰年の福を呼ぶ

女性部目的別趣味グループ「衣裕(きぬあわせ)」は、季節や年中行事に合わせた手芸小物を作っている。仲間同士でアイデアを出し合いながら、趣味を通じて交流を深める。
来年のえとは、辰(たつ)。メ

シャッターチャンス

女性部文化交流会で展示した。飯島由利子代表は「毎年えとモチーフの作品は何を作ろうかと仲間です話合っている。これからも自由な発想で楽しく活動していきたい」と笑顔を見せた。

県は、肥料の高騰による農業経営への影響を緩和するため、化学肥料の低減に取り組む農業者に対して支援しています。JAはだので申請を受け付けます。新規に申請を希望する方は、各支所・支店にお申し出ください。昨年の秋肥および今年の春肥で申請した方に

肥料高騰に支援

県が影響緩和へ事業
JAが申請受け付け

は、12月の組合員訪問日で申請書をお届けします。
◎支援対象 2023年6月から10月までに秋肥として購入した肥料
◎申請期日 24年1月19日(金)
お問い合わせは生産資料課まで。☎81-7719

葉ニンニクの特産化へ一丸

今年も自慢の品質に 研究会

葉ニンニク研究会は、一丸となって取り組んでい。出荷しようと畑を巡回し葉ニンニクの特産化に二。良質な葉ニンニクをて意見を交わす他、じば



葉ニンニクの生育を確認する会員ら

農園巡りハイキング 農業体験と自然満喫

西地区の農家で構成する丹沢秦野観光農業研究会は11月25日「丹沢秦野農園ハイイク」を催した。県内外から43組127人が参加した。
五つの農園が、産地化を進めている葉ニンニクや青パパイヤの他、京幸やスティックセニョールなど13品目の収穫体験を用意した。参加者は、マップを見ながら希望する品目の農園までハイキングなどを感じてもらえるという。三武利夫会長は「秦野の野菜のおいしさや農家の大変さを伝える機会を大切にしたい」と話した。今年も自信を持って出荷できる品質に仕上がった。いろいろな料理に使いたいので、レシピを参考にしたい」と話した。



農家のサポートで京芋を収穫

今年も農家同士で連携し、イベントを盛り上げていきたい」と話した。文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

舞踊や演奏 生き生きと

文化交流会で目的別趣味グループがPR

女性部は6日、クアーズテック秦野カルチャーホール小ホールで第18回JAはだの女性部文化交流会を開いた。目的別趣味グループが活動をPRして新たなメンバーを募り、部の活性化を図ることが目的。趣味グループのメンバーや部員ら合わせて約300人が参加した。

手芸や絵手紙など展示

榎田真弓部長は「思う入してもらえれば」とあつた。女性部サポーターの存分、日頃の活動成果をいさつした。発表してほしい。来場者ステージでは、17組の皆さんは、発表を見てグループが日本舞踊やコラス、オカリナ演奏など少しくも興味を持ったグループがあつたらせび加多多彩な演目を発表し



「びーなマン体操」で会場が一体に



手芸・絵手紙などの作品を展示

観客と一緒に踊ったり、体を動かしたりするように促すシーンもあり、会場が一体となって盛り上がった。作品展示コーナーでは、13組のグループが手がけた手芸や絵手紙、生け花などを展示。クリスマスやえとなど季節の作品も並び、多くの参加者が目をとめた。



発表者と応援に駆け付けた部員

日頃の活動成果を発表

生活文化活動体験発表会

令和5年度生活文化活動体験発表会(神奈川県家の光大会)が14日、海老名市文化会館小ホールで開催された。県内のJAの女性部員ら約200人が参加した。JAはだのからは家の光記事活用部、に東支部の田辺節子さんが「女性部活動体験発表の部」に北支部の桐山容子さんが出場した。田辺さんと桐山さんは、スライドショーを使

東支部の田辺さん県代表に

いながら日頃の活動成果を発表。「家の光」の記事を活用した支部活動や、地域の人のコミュニケーションを大切にしながら取り組んでいる「仲間づくり運動」などについて紹介した。厳正な審査の結果、田辺さんが神奈川県代表に選ばれ、2024年2月に横浜市で開かれる「都道府県代表体験発表大会」に出場する予定だ。

季節の花苗で色鮮やか

花農家が協力し寄せ植え体験

大根・東・北・上支部は9日から20日までの4日間、各支所で花の寄せ植え作りを体験した。4支部合わせて92人が参加し、色とりどりの季節の花苗を組み合わせた鉢植えを作った。



初めて実施した寄せ植え作り(上支部)

13日には、上支部が初めて寄せ植え体験を実施。以前より部員からの要望があつたことから、草花で草山花園を営む草花の配置を考えながら寄せ

山邦彦さんに協力を依頼した。参加者は、草山さんから手順の説明を受けた後、寄せ植え作りを開始。ビオラやハボタン、ストックなど8品目の中から好みの6品目を選んだ。その後、鉢に土を入れ、



他は、現在5人で活動しています。「無理せず、できることに参加しましょう」をモットーにしています。女性部のポイントカード制度にも積極的に取り組んでいます。「家の光」の継続的な購読や、毎年7、8月には「健康福祉充実月間」の一環で行う「健康カレンダー」の記録など、ポイントが付与される活動に参加しています。その結果、ほとんどの班員がたくさんのポイントをもらうことができました。

東支部 西落合第1班

班長 榎田 真弓さん

私たちが、現在5人で活動しています。「無理せず、できることに参加しましょう」をモットーにしています。女性部のポイントカード制度にも積極的に取り組んでいます。「家の光」の継続的な購読や、毎年7、8月には「健康福祉充実月間」の一環で行う「健康カレンダー」の記録など、ポイントが付与される活動に参加しています。その結果、ほとんどの班員がたくさんのポイントをもらうことができました。

クリスマスリース作り
西支部は11月24日、本所でクリスマスリースを作った。13人が参加し、紙パンドを使ったオリジナルの作品を作り上げた。部員は、2本の紙パンドを使って「四つ畳み編み」という技法で編み込

クリスマスリース作り
西支部は11月24日、本所でクリスマスリースを作った。13人が参加し、紙パンドを使ったオリジナルの作品を作り上げた。部員は、2本の紙パンドを使って「四つ畳み編み」という技法で編み込



片倉さん(左)に編み込み方を教わる部員

むりリース作りに挑戦。講師を務めた片倉厚子さんに教わったり、部員同士



作り方を指導する石垣さん(左)

正月飾り作り
南支部は13日、南支所で正月飾りを作った。部員は布で松や竹梅の飾りを作ったり、フェルトを糸で縫い合わせて飾りを作ったりした。その後、バランスを考えた水引や稲穂などを一緒に接着剤などで貼り付け、正月らしい華やかな作品を作り上げた。

竹内京子支部長は「農家の方に協力していただき、感謝している。世話の仕方まで教えてもらえて部員の皆さんも楽しんで作業していたので、今後も続けていきたい」と話した。

料理教室
北支部は11月21日、本所で料理教室を開いた。完成後は、参加者全員で味わった。

やりの頻度を最低限にするなど、自宅での育て方についても教わった。

その後、リボンや松ぼっくりなどを飾り付けて確認したりしながら、慎重に編み込んで輪を作った。

10日(水)	13:30~	本部役員会
11日(木)	10:30~	JA神奈川県女性組織協議会70周年記念事業「グラウンドゴルフ大会」
17日(水)	13:00~	支部会(東)
17日(水)	13:30~	支部会(南)
17日(水)	15:00~	支部会(上)
18日(木)	9:30~	東支部会「成年後見・終活講話」
18日(木)	13:00~	支部会(西)
18日(木)	13:30~	支部会(大根)
19日(金)	13:30~	支部会(本町・北)
22日(月)	18:00~	上支部会「意見交換会」
22日(月)	9:30~	北支部会「キムチ作り」
23日(火)	13:30~	金融セミナー
23日(火)	8:45~	フレッシュミズ日帰り旅行
30日(火)	10:30~	令和5年度JA助け合い活動交流会
31日(水)	13:30~	目的別趣味グループ代表者会議・文化交流会反省会



スリランカの家料理を教わる部員

パイヤを使ったスリランカの家料理を作った。講師は、スリランカ出身のチャン・ドウヌマンダラウエ・ゲダラ・サマングダさんが務めた。サマングダさんは、スリランカの家料理について紹介。スリランカでは、青パパイヤが料理によく使われていることや、スパイス

秦野産にこだわり



レズンサンドを商品化した吉田さんと須藤さん

曲松の洋菓子店「パテイスリークラブ」が農家と連携し、秦野産ブドウのレズンサンドを発売した。オーナーシエフの吉田伊織さんが、菓子のブドウ農家の須藤政一さんと協力して作り

上げた。規格外のブドウを活用し、通年販売できる洋菓子にする。このレズンサンドは、須藤さんが育てた、糖度を多くの人に伝える。近年は夏に強い雨が一気に降る傾向があり、須藤さんは収穫直前のブドウが雨により裂果してしまふ悩みを抱えていた。そこで吉田さんが、レズンへの加工を提案。共通の仲間農家が乾燥加工設備を導入したことを

きつかけに、商品開発を進んだ。レズンサンドには、須藤さんが育てた、糖度を多くの人に伝える。近年は夏に強い雨が一気に降る傾向があり、須藤さんは収穫直前のブドウが雨により裂果してしまふ悩みを抱えていた。そこで吉田さんが、レズンへの加工を提案。共通の仲間農家が乾燥加工設備を導入したことを

商品ができた。今後も農業と商業の枠を超え、農家と全力で協力しながら地域を盛り上げていきたい」と意気込む。

「はだの市民農業塾基礎セミナーコース」の受講者13人は2日、曾屋神社で伝統的なしよゆ造り

「はだの市民農業塾基礎セミナーコース」の受講者13人は2日、曾屋神社で伝統的なしよゆ造り

「はだの市民農業塾基礎セミナーコース」の受講者13人は2日、曾屋神社で伝統的なしよゆ造り

「はだの市民農業塾基礎セミナーコース」の受講者13人は2日、曾屋神社で伝統的なしよゆ造り

若手の力で農業盛り上げ

市内の若手農家で構成する青年部は、さまざまなイベントを通して、部の活動や地域の農業をPRしている。じばさんずで対面販売や体験教室を開く他「花いっぱい運動」で市内各所に色鮮やかな花のプランターを提供。若手が力を合わせて地域の農業を盛り上げる。

青年部

部員の紹介ボード 対面販売で身近に

青年部は、月に1回開く対面販売イベント「ユースマルシェ」で掲げる、部員の紹介ボードを作った。出荷する部員の顔や名前、栽培する作物の品種や特徴、育て方などを、会話のきっかけにして、マルシェを活性化させる取り組みだ。



マルシェに掲示する部員の紹介ボード



草山さんの指導で花の寄せ植え体験

寄せ植えを指導 好みの苗選び体験

ユースマルシェを開催した2日には、じばさんず敷地内で花の鉢物コーナーに並ぶ、草山さんの寄せ植え体験のイベントも開いた。部員で花農家の草山邦彦さん、自身の生産する花を使ってお客さんに苗の選び方や、好みの苗を選んでくれる。5本を組み合わせる。

参加者は、草山さんからアドバイスを受けながら花を選んだ後、寄せ植えに挑戦。背の高い花を奥に植えて、手前は背の低い花を植えることや、土を入れる量などを教わりながら、オリジナルの寄せ植えを完成させた。

参加者は、草山さんからアドバイスを受けながら花を選んだ後、寄せ植えに挑戦。背の高い花を奥に植えて、手前は背の低い花を植えることや、土を入れる量などを教わりながら、オリジナルの寄せ植えを完成させた。

参加者は、草山さんからアドバイスを受けながら花を選んだ後、寄せ植えに挑戦。背の高い花を奥に植えて、手前は背の低い花を植えることや、土を入れる量などを教わりながら、オリジナルの寄せ植えを完成させた。

花いっぱい運動 プランター提供



部員がマラソン大会の会場に搬入したプランター

3日には、部員が生産する花を植えたプランター100鉢が、市カルチャーパークで、だの丹沢水無川マラソンのコースを彩った。部員が取り組む「花いっぱい運動」の一環で、青年部員が子どもたち

大会では、プランターがスタートライン付近に並び、100鉢のプランターを送り出すとともに、沿道で応援する来場者の目を惹きました。

加賀将志委員長は「盛大なマラソン大会で部員の育てた花を飾って良かった。多くの人に部の活動を知ってもらい、地域の農業に少しでも興味を持ってもらいたい」と話した。

市立北幼稚園では、女性部と連携して園児と交流した。女性部員は、幼稚園に4鉢ずつ届けた。さらに、市の公共施設やJAデイサービスセンターへ移動し、JAのキャラクターや活動もPR。

その後、加賀委員長が花の世話を任された。園児からは「お花がきれい」「頑張ってお世話したい」と笑顔があふれた。

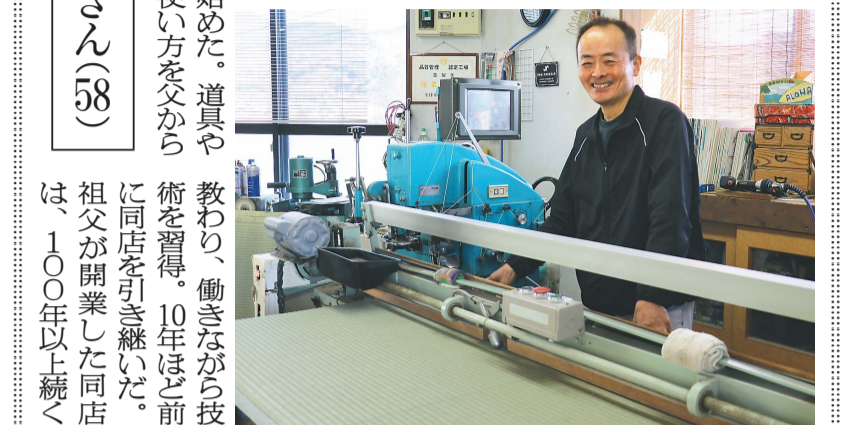
同園の北村亜弥園長は「花の世話をすることも園児の貴重な体験になる。きれいな花がもたらせてあげたい」と感謝を述べた。

マラソンコース彩る ランナーと来場者楽しむ

寺山の「山岸」 寺山で「山岸」を営む山岸佳男さん

31歳のころ、当時父が営んでいた同店の移転をきっかけに、10年間務めていた電機メーカーを退職。量職人の道を歩み始めた。道具や機械の使い方を父から

要望くみ最適な畳を



「秦野畳工業組合」に加入しています。組合の仲間と一緒に、秦野たばこ祭や商まつり、市民の日にも参加し、張り替え注文の受け付けや畳を使った小物などを販売しています。

「販売しているものは、イ草の他にも、傷が付きにくく水に強い和紙やプラスチックの素材の畳を扱っています。お客さまの予算や好みなどに合わせて提案しています。」

「今後の展望は？」

「お客さまの要望をくみ取りながら、満足いただける最適な畳を提供できるよう努めています。長年仕事を続けられるよう、労力軽減のために新しい道具や機械を取り入れたことを考えています。」

「書道の部」 岩田さん

「美術の部」 小泉さん

「美術の部」 大木さん

「美術の部」 大木さん

幼稚園や公共施設に届ける

4日には、マラソンに提供したプランターを、市内の幼稚園などに届けた。部員が子ども



園児に世話を任せる加賀委員長

その後、加賀委員長が花の世話を任された。園児からは「お花がきれい」「頑張ってお世話したい」と笑顔があふれた。

同園の北村亜弥園長は「花の世話をすることも園児の貴重な体験になる。きれいな花がもたらせてあげたい」と感謝を述べた。

同園の北村亜弥園長は「花の世話をすることも園児の貴重な体験になる。きれいな花がもたらせてあげたい」と感謝を述べた。

農産物市長に贈りPR



高橋市長(中央)に鉢花を手渡す相原部長

高橋市長は「秦野と言えはシクラメンなどの花の街といわれるように、今後も研究や開発などに励んでほしい」とエールを送った。

高橋市長は「秦野と言えはシクラメンなどの花の街といわれるように、今後も研究や開発などに励んでほしい」とエールを送った。

2種のキウイ 生産状況報告

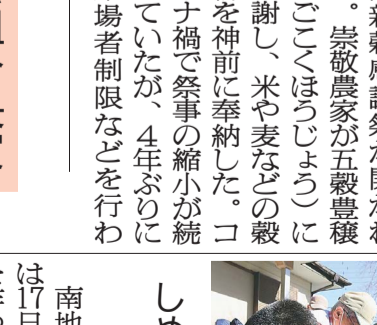


多くの組合員が参加した新穀感謝祭

高橋市長は「気象条件が厳しくなっているが、これからもおいしくキウイフルーツを生産していただきたい」と声をかけた。

高橋市長は「気象条件が厳しくなっているが、これからもおいしくキウイフルーツを生産していただきたい」と声をかけた。

新穀感謝祭 厳かに祈神



伊勢原市の大山阿夫利神社社務所で5日、第89回新穀感謝祭が開かれた

伊勢原市の大山阿夫利神社社務所で5日、第89回新穀感謝祭が開かれた。崇敬農家が五穀豊穡を祈る。米や麦などの穀物を神前に奉納した。感謝し、米や麦などの穀物を神前に奉納した。感謝し、米や麦などの穀物を神前に奉納した。

伊勢原市の大山阿夫利神社社務所で5日、第89回新穀感謝祭が開かれた。崇敬農家が五穀豊穡を祈る。米や麦などの穀物を神前に奉納した。感謝し、米や麦などの穀物を神前に奉納した。

秦野市展でJA組合長賞 本所に力作飾る

第53回秦野市展(書道)の部・美術の部 写真の部が、クエアステック秦野カルチャーホールで開かれ、JAはだのから特別賞として秦野市農業協同組合長賞を授与した。

受賞したのは、書道の部が上今川町の岩田よしひさん、美術の部が曲松の大木美智子さん、写真の部が菩提の小泉光太郎さん。受賞作品は、来年11月まで本所に展示する。

受賞したのは、書道の部が上今川町の岩田よしひさん、美術の部が曲松の大木美智子さん、写真の部が菩提の小泉光太郎さん。受賞作品は、来年11月まで本所に展示する。

告知板

市が燃油の購入費支援

秦野市は、燃油の高騰対策として、施設園芸・茶加工の加温設備の燃油について、購入量に応じて補助します。詳細は次の通り。

◎対象者

次の全てに該当する方
▽市内で施設園芸または茶加工を行っている農業者・農業法人▽市内で施設園芸などを継続する意思がある▽燃油価格の高騰に備え対策を検討する

◎対象経費

①国の施設園芸セーフティネット構築事業(以下「国事業」という)の加入者が、対象期間の2023年10月から24年2月までに購入した重油の経費
②国事業の加入者が、省エネルギー等対策推進計画に基づき実施する資材などの導入経費

③23年4月から24年2月までに購入し、24年3月までに使用する重油または灯油の経費※①に該当する重油経費は補助対象外

◎補助額

①は、補填金の額の4分の1
②は、導入経費の4分の1

③は、1辺当たり5円

◎申請期間 24年3月1日(金)まで※厳守

◎申請手続き 市ホームページ、はだの都市農業支援センター、市農業振興課にある「申請書兼請求書」に必要事項を記載し、次の書類を添えて申請してください。

▽対象期間内に購入したと、重油または灯油であること、購入数量が確認できる書類(納品書、領収書、販売証明書など)の写し▽施設園芸または茶加工の加温設備の写真▽燃油貯蔵許容量を記載した燃油保管設備の写真

▽導入資材の種類、購入日、支払日、金額が確認できる書類の写し▽その他事業の内容を確認するために必要な書類
◎申請先 市農業振興課 82-9626

市民農業塾の受講生を募集
農業の担い手づくりの場として開講する、2024年度「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。目的に応じて、3コースを用意しています。

新規就農コースは、事前に説明会を開催し、申込書を配布します。受講を希望する方は、電話でお申し込みの上、どちらかにお申し込みください。

◎日時 ①2月2日(金)午前9時から②2月3日(土)午前11時から

◎場所 本所農業団地センター3階 O.A会議室

お問い合わせ・お申し込みは、はだの都市農業支援センターまで。81-7800

項目	新規就農コース	基礎セミナーコース	農産加工セミナーコース
対象者	新たに市内での農業参入を希望する方(年間50万円以上の売り上げ目標)定年帰農により秦野市で農業を始める方	市民農園などの利用者および利用を希望する方	市内で農産加工品の製造販売を希望する方および既に製造販売している方
内容	就農に必要な知識・技術の習得、露地野菜の慣行栽培研修	座学(講義)を中心とした基礎的な学習	農産加工品の製造販売に必要な知識の習得
受講場所	表丹沢堀山下ふれあい農園内	J A はだの本所	J A はだの本所
募集人数	5人程度	15人程度	12人程度
受講料(年間)	20,000円 ※別途保険料あり	10,000円	3,000円
期間その他	3月~翌年1月(2年間) 1年目:講義(週3日) 農家研修(40日以上) 2年目:講義(月1~2日) 農場実習(通年) 農家研修(40日以上)	3~12月の土曜日 全12回を予定	4~9月 全8回を予定
申し込み	説明会の開催時に申し込み ※面接選考あり 説明会受け付け: 1月9日(火)~31日(水)	電話で先着順受け付け 1月9日(火)~2月9日(金)	

じばさんず NEWS

年末は31日(日)午後3時まで、年始は4日(木)から営業します。

【1月のイベント】

- ☆「初売り」4日(木) お得な福袋は、早い者勝ち!数量限定でご用意します。
 - ☆「旬の果物・野菜フェア」6日(土)7日(日)13日(土)14日(日)20日(土)21日(日)27日(土)28日(日)旬の果物や野菜にスポットを当て、店舗外の特設コーナーで販売します。
 - ☆「おすすめ商品の特売」16日(火)23日(火)30日(火)産地間提携を結ぶJ Aの商品など、お薦めの品を特別価格で販売します。
 - ☆「豚肉加工商品の日」19日(金)株式会社フリーデンが国産豚を使用したお得な商品を販売します。
 - ☆「大寒卵」20日(土)大寒に生まれた卵は、滋養豊富で、食べると1年を健康に過ごせるといわれています。数に限りがありますので、お早めにどうぞ。
 - ☆「たまごの日」毎週月、金曜日 店頭価格から10%引き。「みくるべたまご」は除きます。
 - ☆「米の日」毎週水曜日 店頭価格から10%引き。
 - ☆「肉の日」毎週木曜日と29日(月) 店頭価格から5%引き。
 - 【Sun's Gelatoのイベント】
 - ☆「ポイント2倍デー」13日(土)23日(火) サン(3)ズジェラートの日は、ジェラート1個ご購入でスタンプカードに二つ押印します。
 - ☆「お得なパンセット」8日(月)18日(木)28日(日) 8の付く日はパンセットの日。クロワッサンなどのパン商品を5個300円で販売します。組み合わせはお好みで選べます。
 - ☆「ワンスプーンサービス」雨の日は、ジェラート購入でお好きな味をスプーン1杯分お付けします。
- ◎1月9日(火)は定休日です。※準備の都合上、イベントが変更になることがありますので、ご了承ください。

場所	地目	面積(平方尺)
堀西629番1	畑	218
堀西629番3	畑	215
堀西629番10	畑	184
堀西942番1	畑	1114

加工相談会を開催

農産加工品をテーマにした相談会です。どなたでもお気軽にご参加ください。

◎日時 1月24日(水) 午前10時~午後4時

営農技術 ヒントポイント
かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (鳥田・加藤)
農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333
●果樹花き課 果樹(笹屋)・作物加工課 作物(楡垣)加工(木下)
●野菜課 花き(青木) (草野)



農薬の付着を良くする展着剤

▼表面張力を抑える
展着剤は、農薬の付着量を均一にするために、散布液に添加する農薬で

「テニス」の順で調製が弱い、植物体への付着を強めます。展着剤の成分は界面活性剤です。植物体の表面や昆虫の表皮は、クチクラ層や微細な毛で覆われていて、水を弾く(濡れにくい)性質があります。

▼主な種類
展着剤は、界面活性剤の機能面から、一般展着剤、機能性展着剤、固着剤、調整方法

▼使用について
展着剤は農薬登録品で、商品によっては適用作物や適用農薬名が限られています。また展着剤の加用により農薬が出やすい薬剤もありません。展着剤と薬剤両方のラベルをよく読んで使用するようにしてください。(青木)

◎場所 本所農業団地センター2階 調理実習室
◎内容 午前は県農業技術センターの職員が、新たな商品開発についての講義を行います。午後からは、個別の相談をお受けします。

春バレイショを購入した方へ

J Aグリーンのはだのは、春バレイショの種芋を購入した方に、種芋が届いたらすぐに開封し、芋を広げて中身を確認するよう呼びかけています。一緒に配布するちらしに保管上の注意点が書いてありますので、必ずお読みください。

J Aグリーンは農家を応援します

J Aグリーンのはだのは1月13日(土)~21日(日)、種子など一部を除き、生産資材を3%引きで販売します。お得な資材3%オフの機会にぜひご利用ください。

お問い合わせはJ Aグリーンのはだのまで。81-7719

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)
冬ぬくし昔ウメコの居た広場
櫻庭 義昭(室町)

数え日や大谷争奪大リーグ
植田 忠克(尾尻)

天地に動ぜぬものに冬至晴れ
石原 松枝(渋沢)

一夜置く風呂吹き崩るる程染みて
石田 陽子(ひばりヶ丘)

畑仕舞冬至鳥の低く過ぐ
柳川みち子(栄町)

落ち葉して嵩む月日の軽からず
佐藤英美子(南矢名)

山茶花の紅にも暮れの年迫る
森高 由子(渋沢)

冬晴れや白唾の城の高く澄み
高島美和子(名古屋)

銅門の数多気配り冬陽射し
吉田 清美(渋沢)

年の瀬や青の時代のピカソ展
菊池としえ(菩提)

年輪は未だ広がる年暮る
志賀 明子(千村)

盛衰や石垣濠の枯れ連
選者

〈短歌〉(久保寺 富男 選)
はるか来てサハラ砂漠におりたてば
われは小さき一粒の砂
石田こずゑ(水神町)

評 渺漠たる砂漠に降り立った時、人間の存在がいかに貧弱なものか思い知らされる。まさにわが身が砂の一粒になつた思いがするものである。
おのれの出番を悟りいるらし
八木 実(鶴巻北)

物価高改善したかと錯覚す
林檎丸ごとかじる夢みて
細田 富士(千村)

朝なさら食事の窓に見る雲の
千変万化 今朝は竜なり
安居院輝雄(上大槻)

年の瀬にこの一年を振り返り
なにもできずにじゅうにかげつ
大木かずひろ(名古屋)

糖分を控えぬ病わがもてど
あめだま一つ舌にまろばす
今井 かめ(羽根)

皇帝ダリア高く咲かせて谷沿いの
棟低き集落に人影もみえず
選者

※選者による添削あり

今月の理事会

12月25日に理事会を開
催し、次のことを審議し
ました。

▽マネロン等関連規程
の改正について

▽苦情等処理対応要領
の改正について

▽地震防災規程の改正
について

▽文書取扱規程の改正
について

▽本所3階フロアの改
修工事について

▽2024年度事業計
画基本方針(案)につい
て

▽職制規程の改正につ
いて

▽2023年度固定資
産減損会計の「資産グル
ープの変更」について

▽支所支店における購
買事業の再構築について

▽投資信託窓口販売業
務にかかる規程の改正に
ついて

▽延滞債権等の処理方
針について

受賞おめでとう

日頃の成果を発揮

J Aグループ神奈川は
11月29日、伊勢原市民文
化会館で第76回農協大
会を開いた。J A運動の
発展に寄与した組合員や
役員などを表彰した。
J Aはだの管内の受賞者
は次の通り。

◎組合員等農協関係者

▽平井勝巳(南矢名) 関
野行夫(鶴巻) 横溝孝芳
(落合) 小泉幸男(今泉)
小林富子(今泉) 和田敬
治(平沢) 草山晴美(平
沢) 片野敏(戸川) 井上
政一(三廻部)

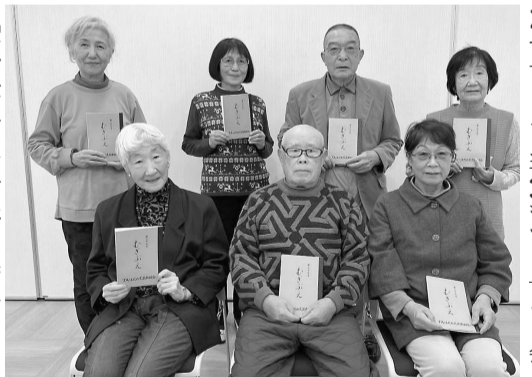
◎農協職員▽内田裕昭
(鶴巻支店長) 佐藤充総
務課人事教育係長) 坂理

結婚相談日
1月10日(水)
時間 午前9時～正午
事前に電話でご予約をお願いします。
先着4人です。お受けできない場合
があります。
ご予約・お問い合わせは組織教育課
☎81-7714

税務相談日 1月9日(火)
午前9時30分～
法務相談日 1月19日(金)
午後1時30分～
場所 本町支所
予約制です。事前にお電話でご予約をお願いし
ます。受け付け順に相談時間が決まります。
ご予約は協同コンサルトはだの
☎81-2329

俳句集「むぎぶえ」発行 季節の句まとめる

J Aの組合員でつくる
文芸愛好会は11月29日、
37号を発行した。会員が



「むぎぶえ」を手にする会員

1年を通じて自然や情景
などを詠んだ句をまとめ
た一冊。A5判30ページで、
会員が手作業で製本
し、65部発行し
た。

同会は、多く
の人に活動をPR
しようとして、J
A各支所・支店
の他、市内の公
民館などに配
布。本所農業団
地センター図書
室にも配架し
た。
ぜひご覧ください。

年末年始業務のお知らせ

J Aはだのの年末年始の一般業務は、年内は
12月29日(金)午後5時まで、新年は1月4日
(木)午前8時30分からです。その他の業務は
次の通りです。

- ▶じばさんず=年末は31日(日)午後3時まで、
年始は4日(木)から営業。
- ▶J Aグリーンはだの=年末は30日(土)まで、
年始は4日(木)から営業。
- ▶東・西給油所=年末は31日(日)まで、年始
は4日(木)から営業。
- ▶はだの都市農業支援センター=年末は28日
(木)まで、年始は4日(木)から
通常業務。
- ▶(株)協同コンサルトはだの=年末は26日(火)
まで、年始は6日(土)から営業。
- ▶ATM=通常通り稼働(午前8時30分から午
後9時まで、秦野駅前が午前9時から
午後9時まで)。上支所は30日(土)
から3日(水)まで休止。
- ▶キャッシュカード・通帳の盗難、紛失=30日
(土)から3日(水)までは、J A
バンク神奈川盗難紛失受付窓口へ。
☎0120-50-9674

その他の業務については、QRコ
ードを読み込んで、J Aはだのホ
ムページのお知らせをご覧ください。



やさい部会いちご部は
5日、市内圃場(ほじょ
う)を巡回して立毛共進
会を開いた。審査の結果
は次の通り。

▽優秀賞▽片野和彦
(戸川) 村上洋堀山下
北村彰(堀山下) 飯田進
(堀西) 三武裕介(堀西)

やさい部会露地部は7
日、市内圃場を巡回して
立毛共進会を開いた。審
査の結果は次の通り。
◎ダイコンの部▽優秀
賞▽古藤登(曾屋)▽優
賞▽杉田宏

おわびと訂正
11月26日に発行した秋
の座談会報告号に一部誤
りがありました。
3面の企画「相談・提
案機能の充実へ」で、一
つ目の意見の回答として
「資材価格高騰対策とし
て2310万円」と掲載
しましたが、正しくは資
材価格高騰対策として1
280万円でした。こ
こに訂正し、深くお詫び
申し上げます。

募集 JA正職員

応募資格 大学または短大を卒業された社会人経験(正社員)が3年以上ある方

募集人員 若干名

職種 JA業務全般に携われる方(総合職)

応募受付期間 2024年2月12日(月)午後5時まで

応募方法 マイナビ転職のウェブサイトで「JAはだの」と検索し、確認してください。

お問い合わせ先 〒257-0015 秦野市平沢477番地
秦野市農業協同組合 総務課
TEL.0463-81-7711(平日午前8時30分～午後5時)

秦野の和紅茶 最上位★五つ

プレミアムティコンテスト2023

茶業部支援の 萎凋槽使用の ブランド化へ前進

菩提で高梨茶園を営む高梨晃さんの和紅茶が、ジャパンティーフェスティバル主催の「プレミアムティコンテスト2023」で、最上位の星五つを獲得した。果樹部茶業部が若手育成で支援した装置「萎凋槽(いちようそう)」を活用し、独自の技術で製造。秦野産の和紅茶のブランド化へ、大きく前進した。

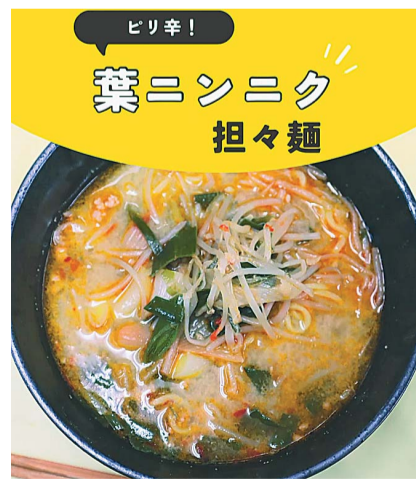


賞状を手にする高梨さん(左)と高梨部長(右)。和紅茶の製造で活躍した高梨さんは、萎凋槽に茶葉に風を当てて発酵させる装置で、若手部長が和紅茶の製造に挑戦している。

コンテストの和紅茶部門には、全国から129点が出品され、内5点が星五つに輝いた。その一つが高梨さんの「はだの和紅茶 香駿1st」。さらに「はだの和紅茶 やぶきた1st」も星三つを獲得した。

理想の和紅茶を作るため、熊本県や茨城県などで勉強会に参加。全国の生産者と意見を交わし、茶葉にも触れて五感を働かせ、和紅茶製造の技術を磨いてきた。結果、甘味があつて香り高く、後味はすっきりとした和紅茶を作ることになった。

高梨福太郎部長は「入賞は秦野の茶業にとって大きな話題になる。若手がやりたいと考えて挑戦することを、部として支えていきたい」と話した。高梨晃さんは「自分の作りたい和紅茶には萎凋槽が必要だったので、後押しをもらったおかげで受賞につながった。さらに技術を磨き、秦野の和紅茶の認知度を上げていきたい」と意気込みを語った。



インスタグラムのJAはだの公式アカウントは、この他にも季節の農産物やレシピ、じばさんずの情報を発信しているよ。ぜひフォローやいいねをしてね。

支所運営委員が地域活性化

講師を務め 正月飾り作り

西支所

西支所運営委員会は1日、西支所で「正月飾り作り体験」を初めて開いた。准組合員らにJAを

身近に感じてもらうよう企画。19人が参加し、交流を深めながら正月を迎えるのにぴったりの作品を作り上げた。

紙バンドや水引を使った工夫が得意な片倉厚子委員ら4人が講師を務めた。片倉委員は、編み込んだ紙バンドを使った正月飾りの作り方を説明。複雑

な作業のため、編み込み方を間違えないよう一人一人に細かく指導した。参加者は、講師に教わりながら丁寧に編み込んだ紙バンドに水を吹きかけ、輪になるよう変形させた。その後、鶴や梅など、片倉委員が事前に用意した水引を飾り付けて完成させた。

東支所運営委員会は10日、JAの活動に関心をもち、緑水庵でピザ作り体験教室を開いた。委員の他、委員の家族で、地域でパン店を営む桐生最さんら5人が

山岸勉委員長が、持ち運びできる家庭用のピザ窯を持つていたことから企画した。参加者は、桐生さんが事前に焼いたピザ生地地にトマトソースを塗り、タマネギやピーマンなど好みの具を選んでトッピング。その後、約250度の窯に入れて、1分程度焼いて完成させた。

山岸委員長は「参加者が楽しそうにピザを作っていたので、企画して良かった。今後も委員らと協力して、組合員に関心をもち、組合員に協力して企画していきたい」と意気込みを話した。

桐生さんの指導でピザ作り挑戦した。

協力を求めた。加した9組18人の組合員らと交流を深めながら、ピザ作りを指導した。

組合員と交流 ピザ作り教室

東支所

山岸勉委員長が、持ち運びできる家庭用のピザ窯を持つていたことから企画した。参加者は、桐生さんが事前に焼いたピザ生地地にトマトソースを塗り、タマネギやピーマンなど好みの具を選んでトッピング。その後、約250度の窯に入れて、1分程度焼いて完成させた。

山岸委員長は「参加者が楽しそうにピザを作っていたので、企画して良かった。今後も委員らと協力して、組合員に関心をもち、組合員に協力して企画していきたい」と意気込みを話した。

桐生さんの指導でピザ作り挑戦した。

協力を求めた。加した9組18人の組合員らと交流を深めながら、ピザ作りを指導した。

協力を求めた。加した9組18人の組合員らと交流を深めながら、ピザ作りを指導した。

協力を求めた。加した9組18人の組合員らと交流を深めながら、ピザ作りを指導した。

接近! おじゃまです

今年度、青年部の委員長を務める横野の加賀将志さん。農産物の販売や流通に興味があり、10年ほど前にはだの市民農業塾に入塾した。2年間かけてノウハウを身に付け、生まれ育った秦野でゼロから農業をスタートした。

現在では就農8年目。2秒の畑でネギをメイ

新規参入の道筋をつくる

新規参入の道筋をつくる



紙バンドに水引を飾り付ける参加者

複雑な作業のため、編み込み方を間違えないよう一人一人に細かく指導した。

桐生さんの指導でピザ作り挑戦した。

協力を求めた。加した9組18人の組合員らと交流を深めながら、ピザ作りを指導した。

協力を求めた。加した9組18人の組合員らと交流を深めながら、ピザ作りを指導した。

協力を求めた。加した9組18人の組合員らと交流を深めながら、ピザ作りを指導した。

協力を求めた。加した9組18人の組合員らと交流を深めながら、ピザ作りを指導した。

協力を求めた。加した9組18人の組合員らと交流を深めながら、ピザ作りを指導した。

協力を求めた。加した9組18人の組合員らと交流を深めながら、ピザ作りを指導した。

協力を求めた。加した9組18人の組合員らと交流を深めながら、ピザ作りを指導した。



横野の加賀将志さん(45)

今後について「目標は高く、ゆくゆくは栽培面積を東京ドーム3個分に広げたい」と笑顔を見せた。



JA HADANO